

第115回 創薬科学セミナー／GTR セミナー

佐伯 将臣 先生

名古屋大学医学部附属病院 手の外科 特任助教 (iBME 担当)

医療ニーズを捉えた革新的な メディカルテクノロジーの開発方法 スタンフォード Biodesign について

2019年11月27日(水) 16:30~18:00

創薬科学研究館 2階講義室 (205)

連絡先: 創薬科学研究科 廣明秀一 (内線 4535)

近年、創薬の分野において薬剤の開発と医療機器である投薬デバイスの開発がセットで進められるなど、分野の境界は融合しつつあります。

Biodesign は2001年にスタンフォード大学の Dr. Paul Yock らが創始した「デザイン思考をもとにした医療機器イノベーションを牽引する人材育成プログラム」です。わが国も含め、インド・シンガポールを始めとする各国が導入を開始しています。佐伯先生は、本学の医工連携研究・教育にこの Biodesign の手法を導入すべく、スタンフォード大にて6カ月のコースを修了し7月に本学に戻って来られました。本セミナーでは、Biodesign の方法論の全体像と、それに密接に関連したアカデミア創薬加速プログラム **SPARK** について、ご紹介いただく予定です。皆様ぜひご来聴ください。

